

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
			小項目	
1 高速網整備効果を活かし京都丹波ならではの観光の提供により観光入込客数の増加を図ります。	高速網整備効果を活かし、京都丹波ならではの観光の提供により観光入込客数640万人を目指します。		○	・平成25年600万人(94%)
	①市町、商工会・商工会議所、観光協会、観光関係事業者団体等による実行委員会を設立し、オール京都丹波により「京都丹波・食と文化でつながるプロジェクト」を推進します。		◎	・6月6日「食と文化でつながる京都丹波」キャンペーン連絡会開催。関係団体が協力・連携して取り組んでいくことを確認 ・「京都丹波つながりランチ・ディナー」、観光キャンペーン等の個別事業推進に取り組んだ。
	②豊富な食材を活かした取り組み ・丹波黒大豆、丹波牛など地元食材を使った「京都丹波つながりランチ・ディナー」提供(100メニュー) ・京都丹波道の駅「駅弁」プロジェクト「7つの駅弁」(10月販売開始)	○	○	・公募により、5グループ16店舗が応募。『こだわり! 京都丹波のごちそう』として15店舗で提供。(メニューの開発だけでなく、メニューの提供も行うことが効果的と判断し、目標を実際に食せることを条件に開発、提供店とした。) ・「7彩(なないろ)駅弁」(7種類)を開発・販売(10月~ 販売1ヶ月で2千個超販売)
	③伝統行事や新たなイベント(冬ほたる等)等地域の魅力PR ・総合情報誌の発行回数(3回) ・PRする行事・イベント等数(100件) ・名神高速道路等でのPRイベント数(4回) ・京都丹波EXP02013 in なんとん(1万人)		◎	・「にそと」開通を踏まえたドライブマップによる情報発信、11月配付開始 ・PRする行事・イベント等数(100件) ・PRイベント4回実施 ・京都丹波EXP02013 inなんとん参加者 3万人
	④京阪神からのアクセスの良さ、特産品や観光スポット等の地域資源を「京都丹波ブランド」として確立し、知名度向上を図ります。 ・市町、観光協会や「大丹波」等と連携した観光キャンペーン開催数 2回		◎	・観光キャンペーン2回開催 (JATA旅博(9月)、阪急梅田店(10月))

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
			小項目	
10 にそとや京都縦貫自動車道延伸による飛躍的な交通アクセス向上を最大限に活用し、企業誘致活動と立地により、ものづくり産業の拠点づくりを推進します。	①「新京都伝統工芸ビレッジ構想」の推進 ・関係機関と協力・連携して日本文化財保存修復国際センター構想における京都新光悦村での人材育成拠点整備を推進 ・ワークショップやデザインコンペ等産学連携事業を実施	◎		・日本文化財保存修復推進協議会を設置し、京都新光悦村での人材育成拠点の整備等を内容とする「日本文化財保存修復国際センター構想」を策定。 ・日本文化財保存修復推進協議会を設置し、第1回会議を7月10日に開催。文化財保存修復に従事している関係団体との意見交換を随時実施。 ・H25伝統工芸伝承のための産学連携事業内容 1: (株)tckwへのインターシップ 2: 井筒ハツ橋本舗の商品パッケージデザイン・販売 3: 『ディスカバージャパン』編集長を招いてのレクチャー→広報 ・H25産学連携ワークショップ事業内容 1. 高島屋京都店と京都美術工芸大学、京都伝統工芸大学校とのコラボによる商品開発(陶芸、木工芸に金属工芸を追加。ギフト(パッケージ)商品としての展開を検討) ※ 24年度開発商品(木工芸、陶芸)等の期間限定販売を高島屋京都店で実施。(期間: 25年8月21日~27日、売上: 246,225円(税込。体験教室参加料も含む)) 2. 高島屋京都店と京都美術工芸大学、京都伝統工芸大学校のコラボによる子ども向け伝統工芸体験教室及び試作品のモニタリング調査の実施
	②京都産業21をはじめとする関係機関との連携・取組強化により立地・増設を促進します。 ・企業立地・事業高度化企業数 10件(新規立地3、増設等7) ・新規雇用100人	○	×	・25年度操業開始: 3件 新規雇用: 47人 【未達成要因】 景気は緩やかな回復基調にあるが、企業の投資意欲は完全に戻っていないため、目標達成できなかった。 ただし、26年度以降、次のとおり管内での操業開始及び新規雇用が予定されている。 26年度 操業開始予定: 3件 新規雇用: 初年度31人 27年度操業開始予定: 1件 新規雇用: 初年度50人 25年度~27年度計 操業開始7件 新規雇用 128人

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
			小項目	
	③南丹広域振興局産業立地促進プロジェクトチームによる相談・申請対応による手続きの効率化を図ります。		○	・新規立地案件について、京都府から必要な関係手続の情報を提供。該当市町、府関係機関と情報共有を図り、諸手続を進行中
	④管内誘致企業を中心に意見交換、情報交換を行い、立地・操業支援、農商工連携促進、流出防止のための施策立案に反映します。		◎	・南丹高校の工業系人材育成の協議の場において、管内企業と意見交換を2回実施(12社参加) ・「南丹市地域産業連携推進ネットワーク」に協力・参加し、情報交換・意見交換を実施
	⑤振興局、中小企業応援隊によるものづくり企業への支援施策の提供等を実施します。 ・企業の投資計画策定スケジュールに視点をいた「ものづくり企業支援説明会」を開催(4/16開催) ・タイムリーな情報提供等を行う中小企業応援隊地域連絡会を開催 10回 ・企業訪問やメール配信によるものづくり企業に対する支援施策を提供 振興局支援施策提供数 200回 中小企業応援隊企業訪問件数 5,000件		○	・ものづくり企業支援説明会 3回実施 (4月16日、5月13日、3月27日) ・中小企業応援隊地域連絡会議 9回開催(90%) ・振興局支援施策提供数 220回 ・中小企業応援隊企業訪問5,134回

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
			小項目	
11 ひとつくり機能と連携した企業経営環境の整備促進や雇用の確保を図ります。	①ニーズが高いものづくり(工業系)人材確保のため、大学・高校・専門校へ訪問し地元企業紹介と地域への就職協力を促します。 ・訪問学校数 20校	◎	◎	・ものづくり企業を出展対象とした南丹就業フェアを開催することとなったため、139校に参加を案内 ・参加学校数 24校(120%)
	②管内府立高校生のインターンシップの受け入れやカリキュラムの検討・実施への協力など産学連携を進めるパートナー企業とのネットワーク化を支援し、ニーズが高いものづくり(工業系)人材の育成を推進します。 ・(仮)京都中部ものづくり教育企業パートナー参加企業数 10社		◎	・京都中部ものづくり教育パートナー企業 44社(440%) (京都府立南丹高等学校の工業系人材育成連携協議会を結成)
	③京都ジョブパークとの連携による就職セミナーの開催や地元大学、新規設置の京都丹波若者サポートステーション等との連携により、雇用の確保を促進します。 ・求職者側参加者数 460人(うちサポートステーション100人)		◎	・未就業者側参加者数 972人(211%) 「南丹就業フェア」(10月21日) 109名 京都学園大学合同企業説明会 630名 京都丹波若者サポートステーション 登録者数233人

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
			小項目	
12 企業的な感覚を持つ農業経営者を育成します。	①ニューファーマー(就農5年未満の若手農業者)の農業ビジネス化等を促進するため、プロジェクト活動を強力に進めます。 ・市町の掲げる認定農業者に準じた所得を獲得できる農業経営者の育成 5戸	◎	◎	5戸
	②地域農業で中核となる担い手の規模拡大や集積支援するため、京力農場プランの作成を進めます。 ・京力農場プラン作成 20件		○	・京力農場プランの作成18件
	③南丹アグリネットに参加する農業者と商工業者の交流等を深め、農商工連携応援ファンド事業等を活用した新規商品開発と事業実施後のフォローアップを行います。 ・ファンド活用の農業法人等への支援件数12件(新規4件、継続8件)		○	・ファンド活用の農業法人等への支援件数11件

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
			小項目	
13 地域特産物づくりや都市農村交流などの「山すそ興し」運動を全域で展開し、地域の活性化を推進します。	①特産物育成や都市農村交流などの「山すそ興し」運動を京都丹波全域で展開します。 ・山すそ興しPTによる集落訪問活動で取組集落の増加 新規3地区 ・京都丹波「山すそ興し研究大会」への参加集落の増加 50集落		○	・新規1地区 【未達成要因】 計画していた1集落は台風18号被害により集落訪問出来なかった。25年度は天引き地域に集中的に入った(訪問5回、来庁2回)ことから新規は天引きの1地区となった。 ・研究大会参加集落数 53集落
	②農家所得を向上させるため、地域特産物づくりを推進します。 ・地域特産物の山ぶきの生産拡大及び新規特産物候補目目の検討 山ぶき: 1.0ha ・ハタケセリ、サンショなど新品目の導入(2地区) ・おいしい食の応援隊等、都市住民による農作業支援により、特産物生産体制を強化 ・流通業者と連携し、「ふるさと野菜」や「命の里野菜」の宅配生産を開拓拡大(「ふるさと野菜」新規15名、「命の里野菜」1地区)		◎	・山ぶき1.1ha ・ハタケセリ2地区(和知、瑞穂) ・おいしい食の応援隊に取り組む地区数の増加(1)と新しい栽培作物及び加工(黒ニンニク) ・「命の里野菜」は日吉町世木地域で、ふるさと野菜及びNPO京都村と連携した京都村エクスプレスを2回実施。(「ふるさと野菜」新規43名、「命の里野菜」1地区)
	③地域特産物づくり等を支援するため、鳥獣被害対策チームを中心とした有害鳥獣の捕獲等を推進します。 ・市町及び猟友会と連携したシカの捕獲(シカ:4,000頭、イノシシ:3000頭) ・ニホンザルの被害対策経験者を協力員として登録し、出没地区における地域ぐるみでの被害防除対策を支援(支援地区 9地区 サル対策用実証ほ設置 1地区) ・クマの人身被害防止に対応できる関係機関の連携体制強化(対策検討会 1回) ・年間捕獲数を増加させるため、近隣府県・市町域を超えた広域捕獲を推進するとともに、大型捕獲装置の実証を行い更なる捕獲圧を強化(広域有害捕獲9回、大型捕獲装置の実証試験 3地区) ・広域防護柵の設置及び設置後の管理方法等の習得を支援するとともに、防除意欲の高揚を目指し、安価で有効な防除柵実証により地域防除力を強化(防護柵設置延長 38,000m、防護柵管理講習会 3地区) ・アユ等のカワウ被害対策を推進するため、関係機関等の広域的な連携を強化(対策調整会議 2回)	○	◎	・シカ:4,300頭(108%)、イノシシ:1,100頭(37%) (有害捕獲数(H26.2末時点でH25年の間を推定)+狩猟捕獲数(H24実績)で推定) ・サル被害防除対策支援:4月から2月 9地区(100%)で実施 ・実証ほ:7/9園部町植生地域で1箇所設置(100%) ・クマ出没時の対応検討会:4/25、5/28、10/22 3回実施(300%) ・広域有害捕獲:11月~3月 12回(133%)、大型捕獲装置の実証試験:6月~3月 3地区(100%) ・防護柵設置延長 41,698m(110%) ・防護柵管理講習会 4地区(133%) ・カワウ被害対策調整会議2回

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容 (小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
			小項目	
	<p>④過疎化・高齢化の進行した農山村地域の活性化を図るため、共に育む「命の里」事業に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里力再生計画の策定及びその実践活動をサポートし、住民主体の地域づくりを実現(新規:2地区、継続:6地区) ・事業実施地域間のリーダー交流会により他地域とのつながりを深めるとともに次世代リーダー候補を育成(交流会参加者数15名以上) ・大学生等の若者発想で新しいプロジェクトを取り入れる「京都Xキャンプ事業」を支援(取組地区数:1地区) 		○	<ul style="list-style-type: none"> ・新規:1地区、継続:6地区 【未達成の要因・理由】 京丹波町を窓口地域への働きかけを行ったが、住民合意が得られなかったため。 ・交流会参加人数22名(女性リーダー意見交換会(7名)、京都村づくり交流会(15名)) ・取組地区数:1地区(南丹市美山町宮島地区)
	<p>⑤都市農村交流を促進するため、都市農村交流基盤と森の生産空間の整備を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学公協働によるモデルフォレスト、モデルファーム運動を展開し、府民ぐるみで森や里づくりを促進(11カ所、延参加者1,300名) ・子ども達を対象に、芦生の森と含め京都丹波の森林や木造住宅や木の良さを知る機会を提供(森林体験講座5回) ・大学や地元財産区等と連携した芦生の森の再生・保全への取り組みを拡充(芦生を学ぶツアー1回) 		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルフォレスト活動 8箇所 1,239名(95%) ・森林体験講座(船井林研との連携・間伐・椎茸植菌体験)5回 ・南丹緑の少年団交流集会で森林環境教育を実施 1回 ・モクモクコンクールで子供たちの木工製作 1回 ・子供サミットへの参加 1回 合計 8回(160%) ・芦生を学ぶツアー 1回(100%)

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
			小項目	
14 京都丹波のブランド力を生かし、農畜産物の生産力の強化と新たな産地づくりを推進します。	①京都丹波米の品質向上を推進します。 ・商品価値の高い米の生産を拡大(一等米の割合 85%)		×	・一等米比率66%: 【原因】平地で夏季高温による品質低下
	②黒大豆枝豆について、府内販売額の5割以上(24府全体 167,000千円)を目指し、生産を拡大します。 ・黒大豆枝豆の品種、作型を組み合わせ作期拡大と直播きによる省力栽培での生産拡大(106t→150t)		○	・販売額89,000千円(府内販売額の5割) ・黒大豆枝豆出荷量100.5t 台風被害により中生、晩生が減収
	③黒大豆と小豆は、集落営農組織等への機械化技術の導入等を推進し、生産を拡大します。 ・面積拡大100ha(現状85.3ha) ・黒大豆の省力機械化技術の現地実証 1カ所		○	・黒大豆栽培面積86ha ・黒大豆の省力機械化技術の現地実証 1カ所(亀岡市保津)
	④クリ園の園地再生と虫害防止処理等の技術講習会を通じて、大粒で商品価値の高い丹波クリの生産を拡大 ・2L以上の出荷割合6割以上		○	・2L以上の出荷割合 57% JA京都との連携で、せん定や接ぎ木の講習会を10回開催し、クリ生産の先進地の岐阜県に視察し、2L以上の大型クリ生産を振興した。
	⑤有機栽培実践者の互見会、情報交換による栽培技術の安定化や消費者との交流会により販売額の向上を図ります。 ・年間売上100万円以上10戸、交流会1回		◎	・年間売上100万円以上11戸 ・交流会1回
	⑥輸入飼料の価格高騰に対応するため、飼料米等の利用促進とブランド化により畜産農家を支援します。 ・地元産飼料を安定供給を目指し、飼料米やWCSの作付面積を拡大(55ha) ・亀岡牛生産農家全員参加の飼料米利用研究会を発足し、旨味に優れた亀岡牛の生産拡大(研究会参加戸数 9戸) ・飼料米で生産した卵に次ぐ豚肉等の新しい畜産物商品づくりを流通業者と連携して推進(新たな畜産物ブランドの選定:1畜種)		○	・飼料米やWCSの作付面積を拡大 43ha(89.6%) 【未達成の要因】 田植え時期の水不足により一部作付けを取り止めた農家があったことや飼料用米から加工用米に変更した農家があったため ・研究会参加戸数 7戸(77.8%) 【未達成の要因・理由】 亀岡牛生産(株)以外の農家の参加が得られなかったため ・新たな畜産物ブランドの選定 0 【未達成の要因・理由】 京都生協、畜産センターと連携をとって話を進めることができなかった。

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
			小項目	
	<p>⑦京都丹波流域の農畜産物生産を支える農業生産基盤の整備により、農地集積と担い手組織づくりを実現します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国営亀岡中部地区ほ場整備事業の営農計画・換地計画の樹立と営農体制づくりを支援 (営農計画面積 448ha、大規模営農モデル地区 1か所) ・府営農業基盤整備事業の計画的な事業実施 <ul style="list-style-type: none"> 経営体育成基盤整備事業の川東地区(整地工 A=0.3ha) 基幹水利施設ストックマネジメント事業 蓼島地区 (洪水吐 2門、土砂吐 1門) 南丹用水地区(水路工 L=122m、取水樋門2基) 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 (千歳地区(農道L=500m) 農村地域防災減災事業 (大石ヶ谷池地区(仮設道路 L=122m)) 		○	<ul style="list-style-type: none"> ・国営亀岡中部地区ほ場整備事業の営農計画・換地計画の樹立と営農体制づくりを支援 (営農計画面積 448ha) 土地利用型作物の導入と集落営農組織への集積を目指した営農計画を立案し、地元受益農家へ周知した。換地計画については全工区の換地設計基準案を策定し周知が出来た。 ・整地工 他事業との調整により未達成 ・洪水吐 2門、土砂吐 1門【事業完了】 ・水路工 L=122m、取水樋門 5基【事業完了】 ・農道工 L=450m ・仮設道路工 L=200m

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
			小項目	
15 川下から川上までの効率的な森林施業と地域産材の利用拡大を推進します。	①林業大学校と連携して森林施業の担い手を育成します。 ・林業大学校生の課外活動(森林組合、林業事業者、製材業者等の見学会、体験実習)や地域との交流活動(林業研究グループ、NPOモデルフォレスト団体との交流)を支援(5回) ・林業大学校の現地実習地の確保や実習等への積極的な補助等で円滑な現地実習をサポート ・林業大学校地域連携協議会に参画し、就業につながるキャップストーン研修(インターンシップ)先の紹介や生活環境の向上を支援し、地域への就業を促進	◎	◎	・保津川筏流しイベント 1回 ・間伐材搬出作業体験学習 2回 ・治山事業現地、森林経営計画策定実技指導2回 合計5回(100%) ・学生がキャップストーン研修を管内の森林組合、製材所で受け、今年度南丹管内で4名の学生が就職した。
	②地域産木材の利用を加速するため、集成材加工施設の新設を進めます。 ・府内産木材利用の増加量 2,400m ³ /年		○	・府内産木材利用量の増加量 2,200m ³ /年(見込み) ・今年1月に亀岡市の製材所に集成材加工施設を導入し、府内産木材の利用を進めた。現在、府内産木材利用量を調査中
	③林地残材や未利用間伐材について、森林バイオマス資源としての利活用を進めます。 ・行政、林業事業者、学識経験者等で検討会で現地検証を実施し、林地残材・未利用間伐材の有効活用方法や経営収支モデルを検証(検討会 3回 現地検証 6森林組合 10カ所) ・宿泊施設でのチップ・ペレット等木質燃料の利用拡大(木質バイオマス利用量340t/年間)		◎	・木質バイオマス活用検討会議 4回(133%) ・木質パレットと木質ペレットの試験製造のための林地残材搬出のための現地検証 6森林組合、9箇所(90%) ・木質バイオマス利用量 561t(165%) (内訳 木質チップ171t、木質ペレット390t)
	④森林率83%の府内有数の山どころである南丹地域の間伐材等の森林資源の利用を促進します。 ・森林経営計画の策定を支援し、路網整備と機械化により搬出間伐を促進 間伐面積 1,600ha 間伐材生産量45,000m ³ ・府内産木材の利用促進のため公共施設や内装資材としての利用推進		○	・間伐実施面積 現在調査中 台風18号被害により林道等被害が発生し、間伐実施面積は減少 ・間伐材生産量 44,000m ³ (見込み)(98%)

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
			小項目	
16 あらゆる危機事象へ迅速・的確に対応し、安心・安全なまちづくり	<p>①あらゆる危機事象への迅速かつ確な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子力防災に係る情報の共有化及び広域防災拠点における機能確保を図るため、環境放射線調査車(年4回測定)やモニタリングポストにより放射線監視体制を強化するとともに、市町等関係機関と連携して、実地訓練等へ積極的に参加 南丹家畜保健衛生所と連携して、鳥インフルエンザに係る訓練、連絡会議を開催 関係機関と連携して、通学路の安全対策及び歩道整備を推進するほか、PM2.5に関する情報をホームページにより一般府民に提供 違法開発案件等に対し、南丹広域機動班会議をはじめとした対策会議等を開催し、関係機関との連携を強化 新型インフルエンザ等緊急事態の発生に備えて防衛態勢の強化・整備を図る。 		◎	<ul style="list-style-type: none"> 台風18号災害では、速やかな体制の確立、管内市町への連絡員の派遣、復旧・復興に係る職員派遣など市町と連携した災害対応を実施 原子力防災対策関係市町等連絡会を開催(4月)、環境放射線調査車による測定(6月、9月、12月、3月)、市町等実地訓練等に積極的に参加。(8月、11月、3月) 鳥インフルエンザ対策等の訓練の実施(10月、11月)、関係機関による会議を開催(4回) 府民公募型整備事業による通学路の安全対策等の実施(審査会:8月、11月)、PM2.5に関する情報を府ホームページで提供中 違法開発事案に対する関係機関連絡会議、京都丹波安心・安全まちづくり推進連絡会を開催(5月、9月) 新型インフルエンザ関係では、インフルエンザ発生時の南丹保健所対応訓練を実施(2回:4/24・4/26)
	<p>②感染症対策の推進</p> <p>メーリングリストによる医療・教育・保育・行政、新たに老人福祉等関係機関を加え双方向での情報共有体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 平常時の情報共有を非常時に備える (メーリングシステム参加機関 100%) <p>介護サービス利用者の結核の早期発見及び従事者の二次感染予防に向けたシステムの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 通所介護事業サービス導入時に利用者の結核罹患の有無を確認(医師連携等) (京丹波町 通所施設 9施設) 		◎	<ul style="list-style-type: none"> メーリングシステム参加機関 100% (◎) 京丹波町 通所施設 9施設 (◎)
	<p>③京都式生活・就労一体型支援事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「居場所」における生活支援や「農園」を活用した就労体験により生活保護受給者等未就労者の早期自立を支援 (支援対象者 40名、新規就職者 6名) 		◎	<ul style="list-style-type: none"> 支援対象者 53名、新規就職者9名 (◎)

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
			小項目	
くりを進めます。	④自殺防止対策の推進 ・各市町や関係機関・団体によるネットワークを構築するとともに、ゲートキーパーの養成や府民への広報・啓発を行うことにより、地域での見守り体制を強化し、管内での自殺者数を減少させます。		×	<ul style="list-style-type: none"> ・管内での自殺者数 31名(×) H25 31名 22.1(人/10万人) 【未達成要因】 以下の取組を実施するも目標達成できなかった。 ・居場所カフェ(管内6箇所)として、「みずのきカフェ(みずのき美術館:亀岡市)を設置し、美術館と連携したワークショップを通じた居場所づくりを推進 ・セーフコミュニティかめおか自殺予防対策事業「いのちささえる相談事業」の実施 ・自殺防止の街頭啓発 3回実施
	⑤家畜保健衛生所の家畜伝染病予防対策に加え、発生時に備えた家畜防疫体制を整備します。 ・口蹄疫発生時における振興局の緊急対応の整備(対応マニュアルの周知徹底と研修会を実施 1回) ・高病原性鳥インフルエンザに係る実地演習(先遣隊研修会、実地防疫演習の実施 各1回)		○	<ul style="list-style-type: none"> ・南丹管内口蹄疫初動対応マニュアル作成 ・高病原性鳥インフルエンザ実地演習(2回)、口蹄疫実地演習(1回)
	⑥地震時に備えたため池に対する防災意識の向上を図るため、農業用ため池の耐震性の診断を行います。 ・堤高15m以上で未改修の全ため池の耐震診断を実施 14箇所		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・ため池の調査及び耐震診断 14箇所実施
	⑦森林の水土保全機能を高め、山地災害に強い基盤整備を図ります。 ・荒廃森林の再生や予防方針を定めた森林整備保全事業計画に基づき治山事業を実施(復旧治山:1箇所、保育:3箇所、予防治山:1箇所、奥地保安林保全緊急対策:4箇所)		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度発注箇所 9箇所(100%)

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
			小項目	
17 水害からまちを守るため、河川整備を推進します。	①桂川改修の推進 ・戦後最大洪水への対応を目指し、保津工区の段階的整備の推進 : 高水敷掘削、護岸工、支川処理等の工事の推進 ・保津橋(亀岡市保津町)~JR船岡橋梁(南丹市園部町)間の堤防補強対策の推進: 八木工区の推進、園部工区の着手	○	◎	①桂川改修の推進 ・戦後最大洪水への対応を目指し、保津工区の段階的整備の推進 : 高水敷掘削(約60,000m ³)、護岸工、支川処理等の工事を推進 ・保津橋(亀岡市保津町)~JR船岡橋梁(南丹市園部町)間の堤防補強対策の推進: 八木工区の推進、園部工区の工事に着手
	②昨年の集中豪雨により被害を受けた市街地を流れる河川の改修促進 ・雑水川、園部川、千々川改修		◎	②昨年の集中豪雨により被害を受けた市街地を流れる河川の改修促進 ・雑水川、園部川の改修工事の促進 ・千々川の用地取得及び改修工事の促進
	③天井川における監視体制の強化 ・七谷川、三俣川に監視カメラ及び水位計を設置		◎	③天井川における監視体制の強化 ・七谷川、三俣川に監視カメラ及び水位計を設置完了
	④畑川ダムと合わせた高屋川改修の推進 ・藤ヶ瀬工区の用地取得の推進及び工事の着手		◎	④畑川ダムと合わせた高屋川改修の推進 ・藤ヶ瀬工区の用地取得の推進及び工事の着手
	⑤土砂災害から生命・財産を守る砂防事業の推進 ・中谷川(亀岡市千歳町): 2基目堰堤工事の完成 ・光久谷川(京丹波町安井): 流路工の完成 ・英サ谷(ハナサカ)川(美山町島): 流路工の推進、第2基目堰堤の用地取得に着手 ・篠原西一谷(シハラニイチカニ)川(京丹波町篠原): 用地取得に着手		○	⑤土砂災害から生命・財産を守る砂防事業の推進 ・中谷川(亀岡市千歳町): 2基目堰堤工事の完成 ・光久谷川(京丹波町安井): 工事の完成 ・英サ谷(ハナサカ)川(美山町島): 流路工を施工中、第2基目堰堤の用地取得に向け交渉中 ・篠原西一谷(シハラニイチカニ)川(京丹波町篠原): 用地立会の完了

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
		小項目		
18 安心・安全な地域づくりのため、府民と一体となった事業を進めます。	①府民協働・府民参加による河川管理通路の整備推進 ・年谷川(亀岡市中矢田町)堤防の散策路整備計画策定及び工事着手		○	①府民協働・府民参加による河川管理通路の整備推進 ・年谷川(亀岡市中矢田町)堤防の散策路整備計画策定に向け、地元と調整中
	②土砂法に基づく土砂災害警戒区域等の指定拡大 ・1,423箇所 → H25年度に基礎調査完了 2,000箇所指定(全体約3,700箇所の54%)		○	②土砂法に基づく土砂災害警戒区域等の指定拡大 ・1,948箇所指定。H25年度に基礎調査完了。
	③大規模地震に備え、市町と連携し住宅の耐震化を促進 ・耐震診断事業及び耐震改修助成事業を2市1町で実施するとともに、制度周知のため広報活動を市町と連携して普及啓発を実施。 ・木造住宅耐震改修を促進(目標戸数 耐震改修 19戸)		◎	③大規模地震に備え、市町と連携し木造住宅の耐震化を促進 ・耐震診断事業及び耐震改修助成事業を2市1町で実施するとともに、制度周知のため広報活動を市町と連携して普及啓発を実施。 (1) 広報誌(管内)、ケーブルTVとHP(南丹市)、HP(京丹波町)、パンフレット全戸配布(亀岡市) (2) ガレリア亀岡及び市役所で専門家による無料の耐震相談会を8月に1回、9月に3回開催 (3) 亀岡市総合防災訓練(8/31)において、府市でパネル展示による住宅の耐震化の啓発活動 (4) すまい給付金等説明会(9/27)において耐震PR資料を配布、美山ふるさと祭(11/2)において耐震模型等による耐震化のPR。 ・木造住宅耐震改修を促進 : 耐震改修受付 17戸、簡易改修受付 13戸(計30戸)
	④緊急輸送道路ネットワークの整備推進 ・国道423号法貴峠: 測量等の調査に着手 ・国道372号南八田道路: 用地取得の推進及び付替水路等の工事着手		◎	④緊急輸送道路ネットワークの整備推進 ・国道423号法貴峠: 基準点測量、地形測量及び予備設計に着手。基準点測量及び地形測量は完了。 ・国道372号南八田道路: 用地取得は概ね完了。付替水路工事完成。本体工事(盛土及び切土工事)の推進。
	⑤防災工事及び橋梁耐震工事等の推進 ・防災工事の推進: 京都広河原美山線(美山町田歌他)の法面工事の推進、国道162号(盛郷)の堆雪帯工事の推進 ・緊急輸送道路の橋梁耐震化等の推進 (国道423号の曾我部橋工事の推進、綾部宮島線の長佐大橋の耐震化工事の完成)		◎	⑤防災工事及び橋梁耐震工事等の推進 ・防災工事の推進: 京都広河原美山線(美山町田歌他)の法面工事の推進、国道162号(盛郷)の堆雪帯工事の推進 ・緊急輸送道路の橋梁耐震化等の推進 国道423号(曾我部橋): 仮橋上部工架設、旧橋上部工及び橋脚撤去完了。 新橋下部工事(A1)の推進 綾部宮島線(長佐大橋): 耐震化工事完了。

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況
			小項目	(数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
	<p>⑥ 通学路等の安全対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域と連携した通学路点検及び安全対策の充実、歩道整備の推進 ・府道王子並河線におけるハンプ等の社会実験実施 ・国道423号南条交差点(曾我部小学校前): 用地取得の推進、交差点部の工事着手 ・郷ノ口余部線宇津根橋: 調査・設計の実施 		◎	<p>⑥ 通学路等の安全対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに指定された通学路等の点検を実施し、順次安全対策を進めている。歩道整備についても計画的に実施中。 ・府道王子並河線における社会実験: H25.6月~7月にかけて実験実施。実験結果及びアンケート調査結果を踏まえ、「速度抑制」の安全対策を検討。亀岡市交通対策協議会の了解を得て、対策工事を発注。 ・国道423号南条交差点: 用地取得完了。交差点部の工事推進。 ・郷ノ口余部線宇津根橋: 橋梁詳細設計及び用地測量実施中。
	<p>⑦ 京都丹波の道・長寿プランの推進</p> <p>道路施設の点検・補修工事の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋梁点検(90橋)、舗装点検(延長8km)及びトンネル(12箇所)点検の実施 ・点検結果に基づき必要な補修工事の推進 		◎	<p>⑦ 京都丹波の道・長寿プランの推進(道路施設の点検・補修工事の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋梁点検: 94橋で実施(内70橋は委託点検) ・舗装点検: 府内全域で一斉点検を実施し、9kmを補修 ・トンネル点検: トンネル12箇所について自主点検(目視)を行い、さらにトナリ付属施設については委託による点検を実施 ・点検結果を踏まえ、必要に応じて補修工事を実施。

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
			小項目	
19 府民生 活、地域産業を 支える道路とその ネットワークの 整備を推進し ます。	①京都縦貫自動車道(丹波~京丹波わち間)の整備促進等 ・府道広野綾部線の工事用道路としての整備支援 ・丹波PAに併設される京丹波町の地域振興拠点施設へのアプローチ道路と府道松山須知線との交差点改良工事の着手(地域主導型公共事業)		○	①京都縦貫自動車道(丹波~京丹波わち間)の整備促進等 ・広野綾部線: H24.8から京縦の工事用道路として利用。 ・松山須知線: 用地買収完了。
	②地域活性化のため、大阪経済圏と直結する道路の整備推進 ・国道423号法貴峠: 測量等の調査に着手(再掲)		◎	②地域活性化のため、大阪経済圏と直結する道路の整備推進 ・国道423号(法貴BP): 基準点測量、地形測量及び予備設計に着手。基準点測量及び地形測量は完了
	③国道9号等の幹線道路へのアクセス道路の整備推進 ・亀岡園部線保津南工区: H26年度完成に向けた工事の推進		◎	③国道9号等の幹線道路へのアクセス道路の整備推進 ・亀岡園部線保津南工区: 上部工架設工事完成 (平成26年5月に本線供用予定)
	④府県間・地域間を結び、地域観光等、地域振興に寄与する道路の整備推進 ・国道372号湯の花工区: H25年度本線供用に向けた工事の推進 ・亀岡園部線保津千歳工区: H25年度完成 ・郷ノ口余部線宇津根橋: 調査・設計の実施 ・国道477号西田大藪道路: 用地取得の着手 ・綾部宮島線脇谷BP: 事業化に向けた調査実施 ・宮前千歳線鳴滝工区: 工事の推進 ・京都広河原美山線内久保BP: 用地取得の推進		○	④府県間・地域間を結び、地域観光等、地域振興に寄与する道路の整備推進 ・国道372号湯の花工区: H26年4月末の本線供用に向けて工事を推進。 ・亀岡園部線保津千歳工区: 工事完成。 ・郷ノ口余部線宇津根橋: 橋梁詳細設計及び用地測量に着手 ・国道477号西田大藪道路: 用地取得に向けて現地立会及び用地測量実施。 ・綾部宮島線脇谷BP: 調査に着手。 ・宮前千歳線鳴滝工区: 工事の推進。 ・京都広河原美山線内久保BP: 建物調査完了、用地取得に着手
	⑤地域の実情に合わせた1.5車線の道路整備の推進 ・京丹波三和線和田工区: 人家連担区間の工事の推進 ・中地日吉線中世木工区: 工事の推進		◎	⑤地域の実情に合わせた1.5車線の道路整備の推進 ・京丹波三和線和田工区: 人家連担区間の工事を推進。 ・中地日吉線中世木工区: 工事を推進。

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
			小項目	
2 「食と森の交流の都」構想を推進し、都市農村交流人口の拡大により地域の活性化を図ります。	①農家宿泊型教育旅行の受入・誘致に取り組みます。 ・京都丹波で初めての取組みとなる農家宿泊型校外学習の受入 (「体験+宿泊」を提供する受入農家10戸、近畿圏の学校の誘致1校40名) ・京都丹波ならではの教育体験旅行の誘致情報を確実に届けるため、旅行会社や学校を訪問し、体験プログラム集を提供 (旅行会社・学校訪問数10カ所、教育体験旅行の参加者15校 2000人) ・京都丹波・食と森の交流協議会が大手旅行会社と教育旅行業務受託契約を締結 (第三種旅行業資格の取得)		○	<ul style="list-style-type: none"> ・「体験+宿泊」提供農家23戸 JTBを通じて京都教育大学附属桃山小学校4年生(72名)学年行事として実施 (10月12~13日)=1校72名 ・12/26-27 九州訪問プロモーション 学校等訪問 3箇所、 旅行エージェント訪問7箇所 合計10箇所 ・教育体験旅行等の受入23団体1,395名 ・株式会社ジェイティービーとの臨時業務委託契約(宿泊)締結(10/3)
	②山の家・古民家等と農園を組み合わせた滞在型体験農園(クラインガルテン)を設置し、丹波黒大豆や丹波牛など高品質なブランド産品を活かしたメニューの提供に取り組みます。 ・市町や関係者ととも滞り型農園プランを推進する協議会を組織 ・滞りもできる体験農園の開設準備 (3カ所:26年度開設) ・京都丹波産品を活かしたメニューを提供する農家民宿累計開設数 (10戸)		○	<ul style="list-style-type: none"> ・京都丹波滞り型農園研究会の発足準備 ・京都丹波滞り型農園開設準備3箇所 亀岡市保津・ほづすいたん農園(湯の花温泉) 南丹市日吉大向営農組合(スプリングスひよし) 京丹波町瑞穂・マスターズビレッジ (グリーンランドみずほ) ・農家民宿累計開設数 8戸
	③交流消費額の高い新たなターゲット層を獲得するため、外国人等を対象に、京都丹波ならではの交流モデルツアーを実施します。 ・外国人の留学生や旅行者を対象として京都丹波ならではの京野菜体験や自然体験ができる交流モデルツアーの実施(2回20名) ・道の駅を核とした京都丹波の食と森が満喫できる体験ガイド付きサイクリングモニターツアーを実施(1回10名)		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人留学生を対象としたモデルツアー 合計3回84名 8/26北京大学留学生交流ツアー25名 9/8京都市内大学留学生体験交流ツアー14名 9/28京都アメリカコンソーシアム 体験交流ツアー45名 ・10/15京都丹波の食と森が満喫できる体験ガイド付きサイクリングモニターツアー実施モニター12名
	④都市農村交流を促進するため、都市農村交流基盤と森の生産空間の整備を推進します。 ・農家民宿開業申請に向けた事前合同調査の実施等、迅速適切な指導により開業支援 5軒 ・農家民宿やクラインガルテンの概要、取組について説明会、研修会等を開催 3回		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・合同調査4戸、開設相談中2戸、開業2戸(計8戸) ・農家民宿開業説明会 5回

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
		小項目		
	<p>⑤都市住民からも農村地域からも安心してコーディネート依頼できる体制を確立するため、都市農村交流をワンストップで企画・販売ができる専門組織を整備します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行コンサルタントや会計事務所のサポートを受け、交流の企画から料金精算までのワンストップサービスのノウハウ確立 		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・京都丹波・食と森の交流協議会の役員に(株)JTBC西日本が参加し、常時支援体制が確立 ・都市農村共生・対流総合対策交付金事業の採択によりコーディネーター人件費等の安定(3箇年間)財源確保
	<p>⑥農産物直売所で地域の体験農園等の情報提供体制を実施するとともに、直売所を巡る食育・地産地消クイズラリー等を実施し、新たな顧客を獲得します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の興味が高い農産物直売所や食のイベント、農畜産物の加工体験情報等をYouTube、Twitter、フェイスブック等も活用し、食森協議会HPと振興局HPを連携させて交流情報を一元的に発信(アクセス数の増加(年度当初と年度末を比較して50%向上)) ・農産物直売所等の生産販売力の強化(販売額増 16億円) ・直売所を巡る食育・地産地消クイズラリー等を実施し、新規顧客を獲得(新規顧客の獲得 500人) 		○	<ul style="list-style-type: none"> ・食森交流協議会HP月間アクセス数 4月:349→2月:824 136%向上 ・フェイスブックページでの発信 フェイスブックページとTwitterを連動 検索エンジンでヒット トップページに新着情報コーナー設置 ・直売所売上げ15.8億円 ・直売所を巡るクイズラリーを夏・秋2回実施 新規顧客287人

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況
		小項目		(数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
20 地域のにぎわいにも貢献する川づくりと一体となった親水施設の整備を進めます。	①「保津川かわまちづくり」の推進 ・にぎわいの拠点(さくら広場)の完成 ・地域主導型公共事業による「保津川花回廊」の整備推進		○	①「保津川かわまちづくり」の推進 ・にぎわいの拠点(さくら広場)の工事概成 ・地域主導型公共事業による「保津川花回廊」の整備促進
	②「美山川・やすらぎの川づくり」の推進 ・かやぶきの里前の護岸整備の推進		◎	②「美山川・やすらぎの川づくり」の推進 ・かやぶきの里前の護岸整備を推進
	③教育と土木のコラボ事業の拡充(1年を通じた土木工事PRカリキュラムの実施) ・2市1町で3校以上		◎	③教育と土木のコラボ事業の拡充(1年を通じた土木工事PRカリキュラムの実施) ・南丹市、京丹波町で各1校、亀岡市で2校、計4校で実施。
	④府民協働・府民参画による河川管理通路及び通学路等の歩道整備の推進 ・年谷川(亀岡市中矢田町)堤防の散策路整備計画策定及び工事着手[再掲] ・通学路等の歩道整備の計画的な推進 L=1,500m		○	④府民協働・府民参画による河川管理通路及び通学路等の歩道整備の推進 ・年谷川堤防の散策路整備:計画策定に向け、地元と調整中 ・通学路の歩道整備の計画的な推進:完成 L=3,025m
	⑤日頃から河川に親しむための「365日の川づくり」の推進 ・「保津川かわまちづくり」の推進[再掲] ・「美山川・やすらぎの川づくり」の推進[再掲] ・「西川再生プロジェクト」の推進 ・アユモドキの保全(地元及び研究者と連携し、生息環境の保全再生) ・雑水川「ふれあい水辺づくり」の推進[再掲]		◎	⑤日頃から河川に親しむための「365日の川づくり」の推進 ・「保津川かわまちづくり」:拠点となるさくら広場の概成 ・「美山川・やすらぎの川づくり」:工事の推進 ・「西川再生プロジェクト」:事業の推進 ・アユモドキの保全:地元及び研究者と連携し、調査を実施 ・雑水川「ふれあい水辺づくり」:事業の推進
	⑥さわやかボランティア・ロード事業及び南丹ふるさとの川愛護事業の愛護団体など府民参画・府民協働の推進 ・参加者目標:5,000名		×	⑥さわやかボランティア・ロード事業及び南丹ふるさとの川愛護事業の愛護団体など府民参画・府民協働の推進 ・参加者:4,149人 【未達成の要因・理由】平成25年9月の台風18号により、管内の道路、河川に甚大な被害が発生し、その復旧を優先したため、秋以降の府民参画の機会が少なくなったことによる。

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
			小項目	
21 地域のまちづくり、景観づくりを支援するための事業を推進します。	①京都丹波の魅力を満喫するための京都丹波景観街道(仮称)の整備(府内、管内の観光地、管内の「道の駅」等を巡るルート整備) ・綾部宮島線脇谷バイパス:事業化に向けた調査実施	○	◎	①京都丹波の魅力を満喫するための「(仮称)京都丹波景観街道」の整備 ・綾部宮島線脇谷バイパス:調査に着手
	②地域主体の地域連携によるまちづくりの支援 ・「地域主導型公共事業」(丹波PA、「保津川花回廊」事業)の支援		○	②地域主体の地域連携によるまちづくりの支援 ・丹波PA(桧山須知線):用地買収完了。 (丹波PA等盛土工事促進のため、交差点改良工事はH26年度実施の予定。) ・「保津川花回廊」:整備の促進
	③地域景観の保全・創造への支援 ・地域の景観づくり活動を育むための景観資産の広報・啓発の推進		◎	③地域景観の保全・創造への支援 ・11月3日の美山ふるさと祭において京都府景観資産パネル等を展示し、広報・啓発活動を実施。

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容 (小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
			小項目	
3 京都丹波地域の府民、団体、学生、市町等と一緒にあって、地域の魅力・情報を内外に発信するキャンペーンにより、「京都丹波」の地域ブランド化を進めます。	①京都丹波の「魅せる化」大キャンペーン 「写ガール」隊による地域の魅力の再発見・発信 ・女性や若者の視点による新たな京都丹波の地域資源の発掘とフェイスブックによる情報発信(大学と連携した「京都丹波写ガール隊」の結成、モデルツアー(5回)、いいね!写真コンクールなどをフェイスブック上で実施)		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・大学、市町と連携し「京都丹波写ガール隊」結成 ・フェイスブック開設(投稿数550、いいね25,000) ・女子力アップツアー(5回) ・いいね!写真コンクールの実施 ・道の駅弁試食会、京都丹波EXPO、CATV出演等
	②京都丹波の「見せる化」PRキャンペーン 「京都丹波まゆまる隊」と協働し、「私の好きな京都丹波!つながる京都丹波」応援メッセージ映像の制作・インターネット配信 ・京都丹波の各地域の各地域の魅力を発信する「まゆまると京都丹波」を制作し、CATVやインターネットで放映(番組制作6本) ・局広報誌「きずな”夢”京都丹波」を管内大学高校等と連携し作成(3回発行) ・局、市町、地域団体のイベント情報等をタイムリーに発信する「京都丹波応援メールマガジン」発行(12回発行)	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・「京都丹波デートMovie(名称変更)」制作・インターネット配信 ・番組「まゆまると京都丹波」6本制作・放送 ・局広報誌「きずな”夢”京都丹波」2回発行、「南丹パートナーシップセンター」通信5回発行(再掲) ・「京都丹波応援メルマガ」12回発行

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況
			小項目	(数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
4 京都丹波の「文化」や「食」等の多様な地域の魅力を発信するPRイベント、広報など、「オール京都丹波」で取り組み、人を呼び込み地域を元気にします。	①農産物直売所で地域の体験農園等の情報提供体制を実施するとともに、直売所を巡る食育・地産地消クイズラリー等を実施し、新たな顧客を獲得します。 ・農産物直売所等の生産販売力の強化 販売額増 16億円 新規顧客の獲得 500人	○	○	・直売所売上げ15.8億円 ・直売所を巡るクイズラリーを夏・秋2回実施 ・新規顧客287人
	②京都丹波・道の駅「駅弁」の開発による地域の賑わいづくり ・7つの道の駅によるプラットフォーム「京都丹波道の駅「駅弁プロジェクト」を設立し、それぞれの道の駅が行う地元食材を活用した「道の駅弁当」の開発・販売の支援による健康づくりと地域活性化を目指す。		◎	・京・里山のおもてなし「七彩駅弁」開発・販売(10月～販売1ヶ月で2千個超販売) ・道の駅巡りとして、七駅巡りスタンプラリー(904人参加)を開催(～3月)
	③「京都丹波EXPO2013 in なんたん」開催【再掲】 ・京都丹波レストラン、京都丹波スイーツ選手権等京都丹波の「食」の祭典及び郷土芸能等の文化の祭典を南丹市で開催 来場者: 1万人		◎	・来場者は、2日間で延べ3万人 ・京都丹波レストラン17店舗が出店し、2日ともにほぼすべての店で完売。 ・京都丹波スイーツ選手権では、14団体24商品の応募があり、選任審査委員7名と来場者100名による人気投票により、最優秀作品賞1点、優秀賞3点を選定。また、スイーツ選手権ブース、大丹波スイーツブースともに商品が完売。 ・30団体が文化のステージ披露及び文化体験ブースを出展
	④「京都丹波・文化交流の日」による地域文化の発信 ・京都市内等で開催されるイベントで京都丹波の伝統芸能等公演など、京都丹波のPR		◎	「京都こだわりマルシェ」において京都丹波の伝統芸能を披露 ・京阪神約1750人の人々にPR ・3団体が出演
	⑤「京都丹波文化ジョイントプログラム」を実施 ・地域団体、文化団体、市町の実施する文化イベント、地域の伝統行事など、様々な秋の地域の文化行事を紹介する「文化カレンダー」作成とホームページによる情報発信 掲載行事: 35事業		◎	「京都丹波文化ジョイントプログラム」を実施 ・地域団体、文化団体、市町の実施する文化イベント、地域の伝統行事など、様々な秋の地域の文化行事を紹介する「文化カレンダー」作成とホームページによる情報発信 掲載行事: 50事業 配布部数: 10,000部 ・管内の道の駅や観光協会、公共施設に加え、京都駅の京都総合観光案内所、府内のサークルKサンクス全店、京都府立植物園、京都文化博物館などに配布

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
			小項目	
5 京都スタジアム(仮称)整備を推進するとともに、健康長寿の京都丹波を目指します。	①京都スタジアムの建設に向けた課題や情報を共有し、法令の基づく手続等の円滑な処理を図るため、亀岡市と局が連携・協力のもと現地連絡会議、実務者会議を設置し、整備を推進	◎		亀岡市、スポーツ振興室とも連携の上、現地視察や地元団体との意見交換会を行うことや現地連絡会議、実務者会議、などを実施し、連携・協力の上整備を推進
	②医療、保健、介護、福祉のサービスを一体的に提供する取組を推進 <ネットワークの強化> 医療、保健、福祉、介護の様々な分野に所属する人たちの顔の見える関係づくりの推進 ・なんたん地域連携研究会の実施 (南丹在宅医療研究会協働に参画する機関数:50機関、参加者数:300名) ・情報共有を目的としたメーリングリストの登録者 (180名) ・「在宅緩和ケア研究会」を実施する中でサポート体制を推進 (研究会参加者数:延べ300名) <基盤整備の促進> 入所待機者の減少を図り高齢者支援の充実を図るため介護施設等基盤整備を促進 ・特別養護老人ホームの増床整備 (80床) ・あんしんサポートハウスの整備 (60床) ・グループホームの整備 (9名×3カ所) <地域特性に応じた先駆的な取組の展開> ・地域における認知症患者の中核施設として認知症患者医療センターの整備 ・地域リハビリテーション支援センターの機能を強化するために協力施設を増やす。 (事業協力施設:5施設(管内全市町(2市1町))	◎		<ネットワークの強化> なんたん地域連携研究会の実施 ・南丹在宅医療研究会協働に参画する機関 83機関、延べ256名(×) ・メーリングリストの登録者 151名(×) ・「在宅緩和ケア研究会」参加者数 延べ440名参加(◎) ○ <基盤整備の促進> ・特別養護老人ホームの増床整備 109床(◎) ・あんしんサポートハウスの整備 60床(◎) ・グループホームの整備 9名×3カ所(◎) <地域特性に応じた先駆的な取組の展開> ・認知症患者医療センター整備済み(◎) ・事業協力施設5箇所確保(◎)
	③新スタジアム整備を契機に健康長寿の京都丹波地域をめざす 京都丹波・地域健康づくりグループ支援講習会の開催 ・健康づくりに取り組む新たな自主グループの育成 (3グループ) ・健康づくりに取り組んでいる既存グループの活性化と後継者づくり (支援講習会の開催:「運動」「食生活」「健康と睡眠」「たばこ」の4ジャンル別、基礎編&キャリアアップ編(受講数 延べ240名)) ・健康情報を発信するために、市町ケーブルテレビでの健康講座の放映、コンパクト冊子「いつでも、どこでも、できルんです!元気づくり体操」、啓発冊子「気軽にカロリーオフ 1日5分でメタボ解消」啓発冊子の作成 (健康講座:管内2市町のケーブルテレビで放映、冊子:2,000冊作成)	○		・自主グループの育成 3グループ(◎) ・支援講習会の開催、受講数 延べ185名(×) ○ ・南丹市CATVにて9/21実施のフォーラム記念講演を4日間放映(◎)、元気づくり体操のコンパクト冊子は、より活用しやすいDVDに変更して作成(◎) 啓発冊子「気軽にカロリーオフ 1日5分でメタボ解消」啓発冊子の作成→実績:メタボ解消の啓発冊子(レシビカード8種)4,000冊作成済み(◎)
	④がん・生活習慣病予防に有効な施策や受診行動につながる啓発の推進 検診受診向上による早期発見や生活習慣の行動変容による罹患率の低下を目指した対策を実施 ・思春期:防煙教室(がん等も含む)を管内全高校で実施(7校) ・青年期~壮年期:①商工会や労働基準協会と協働して事業所の検診や健康づくりを支援するための出前講座を実施(5事業所) ②事業所食堂に健康食情報パンフを配架するなど事業所の健康づくりを支援(5事業所) ③幼稚園等と連携し、専業主婦へがん検診受診を啓発(10回) ・全ライフステージ:歯周病等生活習慣病予防や卒煙支援を実施する歯科診療所の推進(5診療所) ・女性特有のがん対策:市町の検診時や、ピンクリボンライトアップに合わせて乳がん自己触診法を普及(5,000人) ・地場野菜を使った「なんたん・かんたん・やさしい料理」レシビカードを直売所で配布(全直売所49カ所)	◎		・防煙教室 7校(◎) ・出前講座 9事業所(◎) ・事業所食堂に健康食情報パンフを配架 5事業所(◎) ・専業主婦へがん検診受診を啓発 10回(◎) ・歯科診療所の推進 5診療所(◎) ・乳がん自己触診法を普及 6,762人(◎) ・レシビカード配布 直売所39カ所+飲食店14カ所(計53カ所)(◎)

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
			小項目	
6 社会全体で子育てを応援する地域づくりを進めます。	①リトルエンジェル(低体重児等)への養育支援体制の継続(権限委譲に伴う市町事業支援) ・専門家チームを家庭及び施設等に派遣し養育支援を実施(必要な要支援児に対し100%派遣) ・保護者が地域で孤立をしないように支援(親子交流会に参加する親子 25組)		×	・必要な要支援児に対し100%派遣(◎) ・親子交流会に参加する親子 15組(×) 【未達成要因】 当日の御体調により当日欠席される事例があり、目標数値を下回った。 ※親子交流会の開催は、次のとおり開催。 第1回 7/2 参加者6組、第2回10/10 参加者5組、第3回12/13 参加者4組 合計15組
	②各市町が発達障害を早期に発見し、適切な時期に適切な対応ができるよう支援する ・「5歳児健診」等健診後のフォローとして専門医や臨床心理士を保育園等へ派遣(100%) ・療育指導者や市町保健師及び学校コーディネーター相互の連携と力量形成を目的にワークショップを実施(2回) ・住民理解を得るために「親子のすこやかな発達を考えるセミナー」による住民への啓発(セミナー参加者数 150名) ・学童期の発達障害児に対して、支援団体と連携・協働してコミュニケーションスキル等社会性を習得するための訓練(SST)を実施(集団指導の実施 延べ72名)		○	・保育園等へ派遣 100%実施(◎) ・ワークショップ(2回)(◎) ・セミナー参加者数 110名(×) ・集団指導(SST)の実施 延べ119名(◎)
	③児童虐待防止を推進する。 ・市町村職員や子育て支援者等の資質向上のための研修会を開催するとともに、府民への街頭啓発を実施(研修会参加者100名)		◎	・研修会参加者 117名(◎)
	④社会全体による子育て応援の気運づくり ・地元企業、事業者等と子育てサークル等とが協働し、地域ぐるみで子育て家庭を支援していることが実感できるような交流事業を支援(参加サークル数 8サークル) ・子育て家庭が地域の身近なところで気軽に相談や交流ができるよう、子育てサークルや子育て支援者の育成、ネットワークづくりを推進(研修、交流会の開催 2回)		◎	・参加サークル数 8サークル(◎) ・研修、交流会の開催 2回(◎)

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容 (小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
			小項目	
7 障害のある人を地域で支え、切れ目のない相談・支援の充実を図ります。	①障害者への就労を支援 ・なんたん障害者就業・生活支援センターをはじめ、ハローワーク、京都ジョブパーク等と連携した障害者の新規就労創出(新規一般就労35名) ・就労中の障害者の職場定着を促進するため、「交流サロン“ぶらっと”」の開催や生活支援サポーター「わくわくワーク応援団員」による相談支援を実施(定着率 88%(31/35)) ・圏域内企業に対して、障害者雇用への理解を促進するため、経営者等を対象としたセミナーを開催(セミナー参加者 20社)	×	×	・新規一般就労 29名 (×) 【未達成要因】 なんたん障害者就業・生活支援センター、ハローワーク、京都ジョブパーク等と連携し新規就労創出に努めたが、目標数値に達しなかったもの。 ・定着率 定着率93%(27/29) (◎) ・セミナーを開催 16社(×) 【未達成要因】 参加予定企業の予定等が合わず欠席される事例があり、目標数値に達しなかった。 ※セミナー等は次のとおり開催。 企業家と福祉関係機関との交流会(10/2:参加企業8社)及び就業支援セミナーを開催(2/15:参加企業8社)
	②障害者の収入増大に向けた「ほっとはあと製品」の販売促進 ・事業所における販売力、商品開発力向上のための専門家による指導やセミナー等を開催(セミナー参加者 70名) ・イベントへの積極的な出店、カタログを活用した企業へのPR、広報・宣伝の強化による商品認知度の向上(管内事業所の平均工賃 16,000円)			◎

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況 (数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
			小項目	
8 南丹パートナーシップセンターを拠点として、地域活動団体の活動支援や協働による地域づくりを推進します。	①地域力再生活動団体との協働による府民参画促進と活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 熟年・団塊世代の地域活動への参加を促進するための「京都丹波シニアのための地域活動入門講座」開催 (参加者: 30名、体験メニュー20) ・ 亀岡庁舎を活用し、地域団体と協働で、振興局の活動紹介や京都丹波の食などをPRする「京都丹波マルシェ(仮称)」を開催 ・ 京都丹波の盛り上げに資するプラットフォーム事業数(15件) ・ 地域力再生交付金のスタートアップ講座、フォローアップ講座(計2回) 		○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験メニュー20→13(×) 【要因】子育て支援、福祉、農業、地域振興やスポーツ団体の13体験メニューを開発したが、団体での体験受入まで至らなかった。 ・ 京都丹波・振興局マルシェ開催(43ブース、約2,000人の来場者)(◎) ・ プラットフォーム支援(15→14件)(○) ・ 講座開催(計2回→2回)(◎)
	②センターの利用促進と団体間のネットワークづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ センター会議室の利用件数(8,000件)、センター相談件数(2,000件) ・ センター登録団体数(新規16団体、延べ240団体) ・ 地域課題の共有化や活動情報の発信等 京都丹波交流サロンの開催(5回)、センター通信発行(5回) 		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・ センター会議室の利用件数 8,700件(◎) ・ センター相談件数 2,291件(◎) ・ センター登録団体数 新規7団体、延べ231団体(○) ・ 京都丹波交流サロン開催 11回(◎) ・ センター通信発行 5回(◎)

平成25年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

達成区分: 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容(小項目)	達成区分		達成状況
			小項目	(数値目標は実績値と達成率を記載) (※未達成[達成区分が×]の場合は、未達成の要因・理由を記載)
9 京都丹波地域が持つ豊かな自然や地域資源、地域特産物に加え、特色ある高等教育機関を有する強みを最大限にいかした人づくりを推進します。	①大学、高等教育機関との連携事業 ・林業大学校や京都美術大学等の特色ある大学と京都丹波EXPO等の事業や生涯学習をはじめとした地域交流などの連携事業を展開(3事業)	○	◎	・3事業を実施 ※保津川筏流しイベント(府立林業大学校) 京都丹波EXPO2013(府立林業大学校、京都学園大学)
	②介護・福祉を担う次世代育成の推進 ・小・中学生を対象に、福祉への正しい理解と関心を高めるため、福祉事業所、社会福祉協議会、教育委員会等と連携し、福祉教育プログラム(職場体験標準30時間等)を管内で実施(京丹波町1校)		◎	・2校(京丹波町、南丹市)(◎)
	③地球温暖化防止等の意識醸成 ・次代を担う小学生を対象とした「未来っ子温暖化防止授業~学校で家庭でCO2削減~」を実施(メガソーラー発電等の南丹地域の取組も説明)し、身近な温暖化防止対策を推進(15校実施(管内小学校を3年間で1巡)) ・地域の環境保全の取組の協働化を図るため、府民、環境保全団体、中小企業等に対する啓発等を実施(5回)		○	・未来っ子温暖化防止授業の実施 14校(○) ・啓発等 5回(◎)